

## 事業の背景・目的

- トキの分散飼育地として10年以上の実績
- 令和3年度に国のトキ保護増殖事業計画が改定され、本州におけるトキの野生復帰(放鳥)に向けた取り組みが事業計画に位置付けられた → **これを受け、本市でもトキの野生復帰実現に向けた取り組みを進めていく**
- 本市中央部を流れる斐伊川水系は大型水鳥類が安定的に生息可能な潜在性を有する国内有数の一級水系、隣接する雲南市はコウノトリの営巣地 → **トキが生息できるポテンシャルを秘めていると考えられる**
- 一方で、トキの生息可能性について客観的な調査が行われたことはない。また、トキの野生復帰が現実的な目標として市民に幅広く共有されていない現状。トキの採餌環境を確保するための「環境にやさしい農業」も市内に十分に定着していない → **生息環境整備に向けた科学的知見に基づく調査・普及啓発が必要**



## 事業の内容

### 事業① トキ生息適地候補調査

- ・出雲市内の農家等への聞き取り調査、市内全域を対象としたアンケート調査を行い、トキの野生復帰の意義やその実現に向けて必要な取組に関する意識を調査
  - ・出雲市内で新たにビオトープを整備し、トキの生息環境改善に向けた試みを実施
- **トキの野生復帰実現に向け、社会環境・生息環境の両面の向上を図る**



### 事業② 普及啓発事業

- ・トキの野生復帰の意義やその実現に向けて必要な取組について、市内外から有識者を講師として招聘し、市民に普及啓発するための学習会(シンポジウム)を開催
  - ・同学習会(シンポジウム)において市民向けの普及啓発資料を配布
- **トキの野生復帰実現に向けた全市的な機運を醸成する**



## 得られた成果

### 事業① トキ生息適地候補調査

- ・トキの野生復帰に対する市民の意識や、トキの生息環境整備において課題として感じていることなど、市民の意識傾向を把握
  - ・休耕田のビオトープ化に関する知見の獲得
- **今後のトキの社会環境・生息環境の整備に向けた貴重な足がかりを得ることができた**



### 事業② 普及啓発事業

- ・学習会(シンポジウム)には市内外から120名の参加
  - ・実施後のアンケートでは80%の回答者が内容を好意的に評価
- **市民のトキに対する理解度を底上げすることができた**

